

HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.00

リリースノート

メーカー部品番号 : T4111-95000
ドキュメントリリース日 : November, 2006
ソフトウェアリリース日 : November, 2006
ビルド番号 : 461



法的制限事項

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

著作権

(c) Copyright 1994-2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	7
1. 本書の内容	9
2. 関連マニュアルおよび動作環境	11
関連マニュアル	11
動作環境	13
3. 新機能	15
バージョン5.00	15
履歴 - バージョン4.2.2	22
履歴 - バージョン4.4.1	22
履歴 - バージョン4.4.0	23
履歴 - バージョン4.3.2	23
履歴 - バージョン4.3.1	23
履歴 - バージョン4.3.0	24
履歴 - バージョン4.2.1	24
履歴 - バージョン4.2.0	24
履歴 - バージョン4.1.0	25
履歴 - バージョン4.0.0	25
4. 「.ini」および「.cfg」ファイル	27

使用可能な「.ini」および「.cfg」ファイル	27
「.ini」ファイルの変更	29
5. AssetCenterの旧バージョンのアップグレード	35
6. 修正されたバグ	37
バージョン5.00	37
履歴 - バージョン4.2.2	40
履歴 - バージョン4.4.1	42
履歴 - バージョン4.4.0	44
履歴 - バージョン4.3.2	47
履歴 - バージョン4.3.2 (ビルド3654)	48
履歴 - バージョン4.3.1	50
履歴 - バージョン4.3.0	51
履歴 - バージョン4.2.1	52
履歴 - バージョン4.2.0	52
履歴 - バージョン4.1.1	53
履歴 - バージョン4.1.0	54
7. サポート	55
Peregrine製品サポート	55
HP OpenViewサポート	56

表の一覧表

4.1. 「.ini」および「.cfg」ファイル - 主なファイル一覧	27
4.2. 「.ini」および「.cfg」ファイル - 主なファイルの場所	28
4.3. [OPTION]セクション	30
4.4. [SQL]セクション	31
4.5. [OPTION]セクション	31
4.6. [OPTION]セクション	32
4.7. 「amdb.ini」ファイルのエントリ	32
5.1. AssetCenterの旧バージョンのアップグレード - 実行方法	35

はじめに

AssetCenter 5.00では、新機能の追加と多数の問題点の修正が行われています。本書またはその他のAssetCenterマニュアルに記載されていない最新情報については、AssetCenterのインストール先フォルダに入っている「Readme.txt」ファイルを参照してください。

1 本書の内容

本書の内容は次のとおりです。

- AssetCenterの動作環境など、関連マニュアルに関する情報
- バージョン4.0.0とバージョン5.00間で追加された新機能の一覧（一部）
- AssetCenterの設定ファイルに関する詳細情報
- バージョン4.0.0とバージョン5.00間で修正されたバグの一覧（一部）
- 旧バージョンのAssetCenterをアップグレードする手順
- HPのお問い合わせ先

2 関連マニュアルおよび動作環境

関連マニュアル

AssetCenter 5.00に付属しているマニュアルは、以下のとおりです。

- ソフトウェア評価ガイド
- コンセプトと導入
- インストールとアップグレード
- マイグレーション
- はじめに
- 主要テーブル
- ポートフォリオ
- ソフトウェア資産
- 契約
- 調達
- ファイナンス
- ケーブル
- 照合更新
- ソフトウェア配布ツールとの統合
- AssetCenterの高度な使い方
- カスタマイズ
- 管理
- アクセスビリティオプション

- バージョン3.xと4.xの相違点
- プログラマーズリファレンス
- 最適化
- 自動ソフトウェア処理
- 資産トラッキングソリューション
- 経費管理ソリューション
- データベース構造(CHM形式のみ)
- 物理データモデル

上記のマニュアルは、以下のフォーマットで入手可能です。

- 「chm」形式にコンパイルされたオンラインヘルプ。アプリケーションから直接アクセスできます。
- Adobe Acrobat形式。ファイルを最適な条件で表示するためには、Acrobat ReaderをWebサイト<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>からダウンロードし（無料）、インストールされるようお勧めします。

 **注意:**

Adobe Acrobat形式の全マニュアルは、AssetCenterインストール用CDのルートにある「docs」フォルダ内にあります。

上記のマニュアルに加えて、以下のヘルプ文書も付属しています。

- スクリプトおよび関数に関するオンラインヘルプ。このヘルプの内容は、マニュアル『プログラマーズリファレンス』と同様です。このオンラインヘルプは、スクリプトビルダのウィンドウ内では使用できません。表示するには、キーボードの [F1] キーを押します。
- データベース構造に関するオンラインヘルプ。AssetCenterからこのヘルプに直接アクセスすることはできません。AssetCenterのインストール先フォルダ内の「doc\chm」フォルダに格納されている「dbstruct.chm」ファイルを開いてください。
- データベースのフィールドやリンクに関する状況依存ヘルプ。フィールドまたはリンク内にマウスカーソルを置き、次のいずれかの操作を実行します。
 - キーボードで [Shift + F1] キーを押します。
 - マウスを右クリックして、状況依存メニューから [フィールドのヘルプ] を選択します。

AssetCenter 5.00の全マニュアルを、HPのサポート用Webサイトwww.hp.com/managementsoftware/peregrine_supportからダウンロードすることもできます。

このWebサイトにアクセスするには、有効なログインとパスワードが必要になります。

印刷版のマニュアルが必要な場合は、HPまでお問い合わせください。

動作環境

AssetCenter5.00の使用に必要なハードウェアおよびソフトウェアの一覧についても、カスタマーサポート用Webサイト（www.hp.com/managementsoftware/peregrine_support）でご覧いただけます。このWebサイトにアクセスするには、有効なログインとパスワードが必要になります。

3 新機能

この章では、AssetCenter 5.0に追加された新機能について説明します。
新機能の詳細については、AssetCenter付属のマニュアルを参照してください。

バージョン5.00

Webクライアント：クライアントのデザインを一新

AssetCenterのWebクライアントのデザインが一新され、多層アーキテクチャ（4層）をベースとするデザインに変わりました。

Webクライアントは、AssetCenterの新しいWebサービスを経由してAssetCenterのデータ、プロセス、ワークフロースキームにアクセスします。

これまでのOAAテクノロジーベースのWebクライアントに代わって新しいWebクライアントが用いられます。

前のWebクライアントも、これまで通りAssetCenter 5.0と一緒に使用することができます。

▶マニュアル『インストールとアップグレード』の「AssetCenter Webのインストールと設定」の章を参照してください。

マニュアル▶『はじめに』

Webサービス：新規コンポーネント

AssetCenterのWebサービスでは、どのサードパーティのアプリケーションであっても、Webサービスとの相互作用が可能であれば、ユーザフレンドリーな標準ベースのインタフェースからAssetCenterの全部のデータ、プロセス、ワークフロースキームにアクセスできるようにしています。

AssetCenterのWebサービスは、J2EE規格をベースとしており、標準WSDL記述とSOAPベース通信によってアクセスできます。

AssetCenterのWebサービスにより、AssetCenterのAPIが多層アーキテクチャ経由で使用可能になります。

ソフトウェア配布ツールとの統合：新機能

AssetCenterでは、AssetCenterデータベースからの参照情報（人口統計、棚卸、ファイナンス、または契約データ）を使用して、ターゲットコンピュータでソフトウェア配布タスク（スケジュールされたタスクまたは即時タスク）を定義することができます。

これらのタスクを実行するには、AssetCenterと一緒にいずれかのソフトウェア配布またはソフトウェアパッチ管理アプリケーションを使用します。

ソフトウェアの一覧を表示するには、

www.hp.com/managementsoftware/peregrine_supportで動作環境を参照してください。

AssetCenterデータベースやConnect-Itシナリオのカスタマイズに従って、その他のソフトウェア配布およびソフトウェアパッチ管理アプリケーションを使用することが可能です。

マニュアル▶ 『ソフトウェア配布ツールとの統合』

ソフトウェア資産モジュール：改善

ソフトウェア資産管理の改善により、包括的なソフトウェアコンプライアンス（インストール数対取得したライセンス数）を、使いやすいインタフェースで監視できるようになりました。

作成ウィザードの操作性と機能がさらに向上し、すべてのインストールとライセンスが確実にカウントされるようになりました。

複数の新しいウィザードを使って既存のカウントを簡単に変更できます。

ユーザがエグゼクティブビューでコンプライアンスをモニタできます。

ワークフロースキームが、カウントとの連動を確認するためインストールまたはライセンスがいつ追加されたかをモニタします。

以下に、追加と改善に関する詳細を示します。

- ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理] リンクによって表示されるウィザード：

- カウンタの作成を管理していたウィザードの一部のデザインを見直しました。
- このウィザードは、ウィザードを起動したユーザの機能権限を考慮します。
- ソフトウェアカウンタ：
 - 同じカウンタ内の資格と権限を管理できるようになりました。
 - カウンタ作成が単純化され、自動化され、信頼性が上がりました。
 - [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ウィザード
 (sysSamCreateSoftwareCounter) を使用すると、あらゆるタイプのソフトウェアカウンタを作成して、ソフトウェアコンプライアンス (インストール内容対保有ライセンス数、またはインストール内容対必要ライセンス数) を監視できます。これにより、ソフトウェアインストールの全体的な制御を保持する手段が得られます。
 このウィザードによってライセンスとインストールが1個のカウンタにだけ含まれることになるので、権限/資格とインストール/使用が一度だけカウントされます。
 このウィザードをうまく利用することで、所定タイプのすべてのライセンスモデルとインストールモデルが1個のカウンタに正しく関連付けられていることを簡単に確認することもできます。
 これらのカウンタには以下の新規フィールドがあります。
 - [会社ソフトウェア管理の一部] (bFamily)
 - [コンプライアンスには含めない] (SQL名: blInternal)
 - [ウィザードを使用してカウンタを編集] (bAutomated)
 ウィザードを使用しないで、ライセンスとインストールの固有性を無視したより高度なカウンタを作成することもできます。
 - 更新が単純化されました。
 既存カウンタの変更に、以下の複数のウィザードが使用できます。
 - カウンタの適用範囲の定義または再定義... (sysSamAddScope2Counter)
 - 考慮に入れるインストールモデルのリストの変更...
 (sysSamAddInst2Counter)
 - 考慮に入れるライセンスモデルのリストの変更...
 (sysSamAddLic2Counter)
 カウンタの変更ウィザードでは、カウンタに関連付けられていないライセンスモデルとインストールモデルだけを追加できます。
 これにより、ライセンスモデルとインストールモデルが一度に1個のカウンタにだけ関連付けられることとなります。
 - さまざまな状況に対応するため、カウンタのテンプレートの数を増加しました。
 これらのモデルを使用すると、カウントをグループ分けする方法が多様化します (場所別、部署別など)。

- 概要を追加しました（ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理 / ソフトウェアカウンタの結果] リンク）。
このビューは、カウンタごとに1行で表示されます。
各カウンタに対して、このビューに権限、資格、インストール/使用、未使用インストールの数が1行で表示されます。
- 自動カウンタ用にライセンスとインストールを管理
（ sysSamWFAutoCounter ）ワークフロースキームが追加されました。
このスキームは、新しいライセンスモデルまたはインストールモデルを作成したときにカウンタを更新するためのタスクを作成します。

▶ 『ソフトウェア資産』

画面セット：すべてのテーブルに一般化

所定テーブルのレコードを表示する際に、複数のバージョンの画面を作成することができます。

これには、各テーブルに対して作成された画面セットを使用します。

ユーザは、より複雑なFull画面の代わりに、ニーズに合わせてカスタマイズされた画面を表示することが可能になります。

AssetCenterではデータベースのほとんどのテーブルに対してデフォルトで単純なフル画面が付属しています。

マニュアル▶ 『カスタマイズ』の「Customizing the database（データベースのカスタマイズ）」の章の「画面セット」

UNSPSC分類コード：改善

UNSPSC分類コードは、AssetCenterによって供給され、データベースにインポートすることができます。

この分類コードは、ポートフォリオ品目の説明の標準化や、購入管理に用いる外部カタログへのリンクに使用できます。

モデルは、UNSPSC分類コードの最初の2レベルに対して作成されています。

モデルは分類コードの多数のサブレベルに対して作成されており、モデルにはコンポーネント、IT/通信サプライ品、機器が含まれています。

ウィザードを使用すると、分類コードから簡単にテンプレートを作成できます。

プロジェクト：改善

あるプロジェクトに対して発生した経費をプロジェクトとリンクさせ、詳細画面で表示できるようになりました。

作業指示から作成された経費は、自動的にそのプロジェクトに関連付けられません。

資産から作成した経費を、経費付替えを使ってプロジェクトに関連付けることができます。

業務サービス：新機能

AssetCenterでは、すでに以下のユーザ定義が行えます。

- 設定アイテム（ポートフォリオ品目、従業員、部署、場所）間の関係
- これらの設定アイテムと契約またはファイナンス項目間の関係、および社内規則
- 親-従属関係
- 物理的関係（ポート、接続）

業務サービスで、サービスを提供するポートフォリオ品目とこのサービスのクライアントであるポートフォリオ品目間に任意のタイプの関係を定義できるようになりました：[クライアント-リソース関係]テーブル（amClientResource）。

サービスとクライアント間に存在する関係のタイプを定義できます（一部である、接続されているなど）：[接続タイプ]テーブル（amCRTType）。

関係タイプによって、サービスエラーのインパクトを定義することもできます。信頼性の最も高い代替解決策を選択する際に参考となる意思決定情報も得られません。

各ポートフォリオ品目の詳細画面にある複数の新規タブで、クライアントポートフォリオ品目、サービスポートフォリオ品目、関係タイプ、業務サービスを表示することができます。

これらのテーブルには、ナビゲーションバーにある[ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/業務サービス]リンクからアクセスできます。

ポートフォリオ品目：改善

1つのポートフォリオ品目に対して複数のユーザを定義することができます（[ユーザ]（ユーザ）リンク、タイプn）。

このリンクは単なる情報用です。デフォルトでは、どのプロセスからも参照されません。

このため、このリンクは、すでに存在するタイプ1の[ユーザ]（ユーザ）リンクとは置き換わりません。

この[ユーザ]リンクが、一部のプロセスで引き続き使用されます。

例：

- 資産に対する作業指示を要求するときにデフォルトで選択されるユーザが、資産ユーザです。
- ある資産をまかなう経費は、この資産のユーザに関連付けられます。
- ある資産のユーザが変わると、そのユーザの従属資産が自動的に更新されません。

作業指示：改善

1つの作業指示に対して複数のポートフォリオ品目を定義することができます（[ポートフォリオ品目]（アイテム）リンク、タイプn）。

このリンクは単なる情報用です。デフォルトでは、どのプロセスからも参照されません。

[資産]（資産）タイプ1リンクが、一部のプロセスで引き続き使用されます。

例：作業指示から作成された経費明細が、資産と関連付けられます。

サービス依頼（例：コンピュータのメモリの増設依頼）の改善

ユーザが、標準依頼に追加された[モデル]（モデル）リンクを使ってより簡単にサービス依頼を管理できるようになりました。

このモデルは、サービスタイプに対応させることができます。

標準依頼をサービスタイプ別にグループ分けできるようになりました。

同じモデルにリンクされたサービスタイプが、サービスのカタログを形成します。

標準依頼の詳細にある新規の[価格]（価格）フィールドで、サービスの社内請求価格を指定できます。これにより、価格を記載した社内サービスカタログが発行可能になります。

異なるサービスのカタログを管理するため、[サービスのカタログ]（Service_Catalog）ビューが追加されました。

このビューを表示するには、ナビゲーションバーにある[ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/サービスのカタログ]リンクをクリックしてください。

バーコードカタログ：機能の基本アプリケーションへの組み込み

バーコードカタログを作成するため新たに別のモジュールを取得する必要がなくなりました。

カタログを、Windowsクリアアンの[ポートフォリオ/バーコードによる棚卸]メニューで作成できます。

マニュアル▶『主要テーブル』の「バーコードによる棚卸」の章

画面の事前フィルタ：改善

メニューから表示されるテーブルに、表示前にフィルタをかけられるようになりました。

すべてのテーブルに対し、AssetCenter Database Administrator（[QBEフィールド]）を使用して事前フィルタ画面に表示されるフィールドとリンクの一覧を定義することができます。

マニュアル▶『はじめに』の「テーブル内で項目を検索する」にある「クエリウィザード (QBE)」の章

マニュアル▶『カスタマイズ』の「データベースのカスタマイズ」の章の「Creating new objects/ Creating screens (新規オブジェクトの作成/画面の作成)」

リストのカスタマイズ：新機能

ユーザがリストに追加できるフィールドのリストを制限できるようになりました。

最初に管理者が、ユーザが所定の画面からアクセスできるフィールドとリンクのリストをAssetCenter Database Administratorで定義します。

- [リストの列] フィールド (デフォルトで表示されるフィールドとリンク)
- [その他の列] フィールド (ユーザがリストに追加できるその他のフィールドとリンク)

次に管理者が、[リストの全フィールドとリンクの表示を許可する] (SQL名: bFullListCfg) チェックボックスをクリアすることにより、ユーザプロファイルに基づいてこれらのフィールドへのアクセスを制限します。

AQL：改善

クエリに変数を挿入できるようになりました。これにより、リストクエリフィルタ ([テーブル名 / **Filterbyquery** (クエリによるフィルタ)]) がトリガされ、変数の値を入力できるフィールドが表示されます。

ユーザがカスタマイズのためにクエリ自体を書き直す必要がなくなるため、クエリフィルタのカスタマイズが容易になります。

クエリの例：

```
(DaysDiff(getdate(), dAcquisition) < $Days) AND (seAcquMethod = 0)
```

変数\$Days (\$文字と1つの単語から構成) は、クエリフィルタをトリガして、クエリ全体ではなく、Days:とフィールドを表示します。

データベース構造：変更

データベースの構造が変更または機能拡張されました (フィールド、リンク、インデックス、ページ、画面)。

▶ AssetCenterのインストール先フォルダの「doc\chm」サブフォルダにある「dbstruct.chm」ファイルに、AssetCenter 4.4.1のデータベース構造についての説明があります。

▶ AssetCenterのインストール先フォルダの「doc\infos」サブフォルダにある「diff441.html」または「diff441.xml」ファイルに、AssetCenterのデータベース構造におけるバージョン4.4.1と5.00間の相違点についての説明があります。

AutoCAD統合：削除

AssetCenterからAutoCADとの統合が削除されました。

インタフェース：変更

- Windowsクライアント：詳細画面の [破棄] ボタンが [削除] ボタンに変更されました。

言語

グラフィックインタフェースおよびマニュアルのサポート対象言語は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語（簡体字）、および、日本語です。

TCO（総所有コスト）の計算

TCO計算方法が改善されました。

マニュアル▶ 『ファイナンス』の「TCO（総所有コスト）」の章

履歴 - バージョン4.2.2

- Windowsクライアントのユーザインタフェースが最適化が行われ、以下の項目が高速化されました。
 - ウィンドウを開く/閉じる動作
 - データベースへの接続/データベースからの接続解除
 - アプリケーションの開始と終了
- バグフィックス（ホットフィックス）
- DB2：クエリ実行の最適化が行われ、インデックスの使用が高速化されました。
- リンクレコードの削除：確認メッセージがわかりやすくなりました。
- Oracleデータベース：AssetCenter Database Administratorの [マイグレーション / データベースの変換] メニューでデータベースを変換すると、変換の最後に行われる整合性チェックがより早く実行されるようになりました。

履歴 - バージョン4.4.1

- ドイツ語、スペイン語、イタリア語および日本語のサポート

- SAM用の追加ウィザード

履歴 - バージョン4.4.0

- ワークフローと業務データの明細ウィザードを含む、拡張ソフトウェア資産機能
- ソフトウェア資産管理コントロールパネル
- 汎用コントロールパネル
- ライセンスコンプライアンスツール
- Desktop Inventoryアプリケーションライブラリとの統合
- パスワード管理
- LDAP SSLセキュリティ
- データベースモデルの非正規化に対する機能
- 前回の更新者情報のトラッキング
- 任意管理項目をフィールドに変換する機能
- ワークフローエンジンが更新されています。

履歴 - バージョン4.3.2

- マウスを使わずに操作できるユーザインタフェースを改良しました。
- AssetCenterはWindows NarratorまたはJawsなどのソフトウェアのアクセシビリティサーバとして機能します。
- 新しいマニュアル『アクセシビリティオプション』がAssetCenterに同梱されています。
- クエリのキャンセル機能：クエリが実際に複雑であるとわかった場合に途中でクエリの実行を中断させることができるため、ユーザインタフェースのフリーズを防ぐことができます。
- 日本語をサポートしました。
- データベースの作成とマイグレーションウィザードが新しくなりました。
- 管理ガイドが改善されました。

履歴 - バージョン4.3.1

- このバージョンの追加機能は特にありません。

履歴 - バージョン4.3.0

- AssetCenterクライアントの多言語実装。マニュアル『管理』を参照してください。
- データベースレコードのアーカイブ機能。マニュアル『管理』を参照してください。
- ライセンスとソフトウェアのインストールの管理機能の拡張。マニュアル『ポートフォリオ』を参照してください。
- 新しいデータ照合更新チェックモジュール。マニュアル『照合更新』を参照してください。
- レコードをグループ分けして仮想的な階層を作成する機能。マニュアル『はじめに』を参照してください。
- 汎用的なオーバーフロー機構。マニュアル『管理』の「オーバーフローテーブル」の節を参照してください。
- マイグレーションプロセスが単純化されました。
- クエリウィザード (QBE)。マニュアル『はじめに』の「クエリウィザード (QBE)」の節と、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「クエリウィザード (QBE)の作成の例」の節を参照してください。

履歴 - バージョン4.2.1

- AssetCenter Web : いくつかのメニュー/ページが追加または改善されています。
- AssetCenterデータベースへの接続管理 : 本バージョンからは、「システム」接続と「ユーザ」接続を区別します。
- 任意管理項目の継承 : 継承可能な条件の一覧が変更されました。

履歴 - バージョン4.2.0

- IBMDB2UDBデータベースエンジンのサポートが最適化されています。詳細については、動作環境の表やAssetCenterのマニュアル『インストールとアップグレード』を参照してください。
- UnixのサポートにIBM AIXも含まれるようになりました。詳細については、動作環境の表を参照してください。
- スケジュールのグラフィック表示。詳しくは、マニュアル『はじめに』を参照してください。

履歴 - バージョン4.1.0

- データベース編集用の機能が大幅に改善されました。階層構造をもつテーブル、任意管理項目や金額フィールドがサポートされています。
- 一部のポートフォリオ品目専用の画面（電話機、コンピュータなど）
- AssetCenter旧バージョンからのマイグレーションは、完全にサポートされています。
- データベースマイグレーション用ツール：Script Analyzer
- 非グラフィカルモードでUnixがサポートされています。
- GUIとマニュアルは、フランス語、英語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語と日本語の7ヶ国語で提供されています。
- 経費付替えモジュールの改善
- ログファイル閲覧用のツール（ログビューア）が、AssetCenterに付属しています。

履歴 - バージョン4.0.0

- カタログ管理
- 電話、コンピュータなどのポートフォリオ品目の管理の拡張
- データベースのカスタマイズ（例：フィールドやリンクの追加）
- 画面のカスタマイズ。ユーザは、必要な情報のみを含んだ画面を各自に作成できます。
- 調達サイクルの全面的な改訂
- 機能権限。機能グループを定義すると、これを基準にデータへのアクセスを制限できます。各ユーザがAssetCenterで必要な機能のみにアクセスするように設定できます。
- 経費付替え機能
- 詳細な予算管理
- ケーブルの完全管理
- Remote Control、Desktop Inventory、Get-Answersなどの、他のHP OpenView製品との完全な統合

4 「.ini」および「.cfg」ファイル

AssetCenterスイートのプログラムが設定ファイル（拡張子「.ini」と「.cfg」）に関連付けられました。

使用可能な「.ini」および「.cfg」ファイル

主に使用可能な「.ini」および「.cfg」ファイルを以下にリストします。

表 4.1. 「.ini」および「.cfg」ファイル-主なファイル一覧

プログラム（Windowsでは「.exe」または「.dll」、Unixでは一般に「.so」を追加）	「.ini」または「.cfg」ファイル	説明
AssetCenter am	aamdsk50.ini	ユーザ表示オプション。 このファイルを削除すれば、デフォルトの画面表示オプションに戻すことができます。
	am.ini	AssetCenterユーザオプション。
AssetCenter Database Administrator amdba amdbal	amdba.ini amdbal.ini	AssetCenter Database Administratorユーザオプション。 ユーザ表示オプション。

プログラム (Windowsでは「.exe」または「.dll」、Unixでは一般に「.so」を追加)	「.ini」または「.cfg」ファイル	説明
AssetCenter Export amexp amexpl	amexp.ini amexpl.ini	AssetCenter Exportユーザオプション。 ユーザ表示オプション。
AssetCenter Import amimpl	amimpl.ini	AssetCenter Importユーザオプション。 ユーザ表示オプション。
AssetCenter Script Analyzer amsg	amsg.ini	AssetCenter Script Analyzerユーザオプション。 ユーザ表示オプション。
AssetCenter Server amsrv amsrvl	amsrv.ini amsrv.cfg amsrvl.ini amsrvcf.ini	AssetCenter Serverユーザオプション。 ユーザ表示オプション。 Webサーバとして稼動するAssetCenter Server用 パラメータ
AssetCenter API aamapi43	aamapi50.ini	プログラムオプション。
上記のすべてのプログラム	amdb.ini mail.ini	データベース接続リスト。 AssetCenterメッセージシステムの設定。

表 4.2. 「.ini」および「.cfg」ファイル - 主なファイルの場所

「.ini」または「.cfg」ファイル	場所
aamdisk50.ini	Windows 9xまたはME : Windowsルートイン ストールフォルダ
am.ini	Windows (NTファミリ) : \<Documents and Settings>\<Windows user> フォルダ
amdba.ini	Unix : ~/HP OpenView/フォルダ
am.ini	
amdba.ini	
amdbal.ini	
amexp.ini	
amexpl.ini	
amimpl.ini	
amsg.ini	
amsrv.ini	
amsrvl.ini	
aamapi50.ini	
amsrvcf.ini	amsrv実行可能ファイルと同じフォルダ

「.ini」または「.cfg」ファイル	場所
amsrv.cfg	amsrv実行可能ファイルと同じフォルダ 注意: 旧バージョンのAssetCenterからアップグレードした場合、amsrv.cfgはamsrv実行可能ファイルの親フォルダにまだ格納されている場合がありますが、このファイルも問題なく機能します。
amdb.ini	Windows 9xまたはME : Windowsルートインストールフォルダ Windows (NTファミリ) : <ul style="list-style-type: none"> ■ システム接続 : Windowsルートインストールフォルダ ■ ユーザ接続 : \<Documents and Settings>\<Windows user> フォルダ
mail.ini	Unix : ~フォルダ

「.ini」ファイルの変更

「.ini」ファイルのエントリは以下のように変更できます。

- ソフトウェア上で変更が承認されたとき、またはユーザがアプリケーションを終了したときに変更が保存されます。ユーザが [ファイル/終了] メニューを使わずにアプリケーションを終了した場合、変更は保存されません。
- 手動でも変更できます。

「.ini」ファイルのエントリの変更は、できる限りAssetCenterおよびその関連プログラムを使って行うことをお勧めします。

ただし、エントリによっては手動でのみ作成、変更できるものもあります。

注意:

「.ini」ファイルの手動による変更は高度な作業なので、十分な知識を持つ人だけが実行してください。

以下の表は、変更の対象となる「.ini」ファイルのエントリを示します。これらのエントリは手動でしか変更できません。

 注意:

これらの表は、「.ini」ファイルのエントリの一部だけを紹介しています。すべてのエントリが記載されているわけではありません。ここに記載されていないセクションとエントリは、手動で変更しないでください。

ブール値のエントリは、「1」または「0」で記載されています。これらの代わりに、「True」または「False」を使用することもできます。

「am.ini」ファイルのエントリ

[OPTION]セクション

表 4.3. [OPTION]セクション

エントリ	説明
bSaveOptionOnExit	このエントリを「0」に設定すると、AssetCenterを終了したときに[option]セクションの変更されたエントリが保存されなくなります。 デフォルトでは変更は保存されません。
g_bAllowFlyCreate	リンクしているレコードの仮作成を許可するかどうか。 <ul style="list-style-type: none">0：仮作成を許可しません。1：仮作成を許可します。 デフォルト値：1
CmdComboLines	ツールバーからアクセスできるビューやアクションリストに表示される行の数を制限します。
CNtbkTabCfg.bShowFlyby	詳細画面のタブのヒントを表示するかどうか。 <ul style="list-style-type: none">0：表示しない。1：表示する。
KeyIniFileName	「aamdisk50.ini」ファイルのパス名を設定します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">KeyIniFileName=aamdisk50.ini</div> 例: AssetCenterが使用するファイル「aamdisk50.ini」は、ネットワークハードディスク上に置くこともできます。この場合、このファイルを読み取り専用で設定できます。ユーザは設定を変更できません。
NewMailLastCheck	AssetCenterメッセージが最後に読み取られた時刻。 単位：1970年1月1日からの経過秒数
opt_bAskForConcurrentModifications	このエントリは、他のユーザが同じレコードを変更している最中に[変更]ボタンを押したときに、AssetCenterが確認のダイアログボックスを表示するかどうかを決定します。 <ul style="list-style-type: none">1：確認のダイアログボックスを表示する。0：確認のダイアログボックスを表示せずに変更を保存する。

エントリ	説明
opt_bCommitDeletesOneByOne	このオプションは複数のレコードを削除する際に用いられます。これを有効にすると、AssetCenterはレコードを1個ずつ（1レコードにつき1トランザクション）削除します。有効にしないと、AssetCenterは複数のレコードを1つのトランザクションで削除します。 デフォルト値：0
opt_ImportCacheSize	照合更新キーを使ったデータのインポートで、インポートの性能を向上させるためのキャッシュメモリの値を設定します。 単位：見つかったレコードの数。 デフォルト値：100
StartSunday	週の最初の日を月曜（StartSunday=0）または日曜（StartSunday=1）に設定します。 このオプションはカレンダーで用いられます。

[SQL]セクション

表 4.4. [SQL]セクション

エントリ	説明
OracleDLL	Oracleとの対話のためにロードするOracleのDLLの名前を設定します。

「amsrv.ini」ファイルのエントリ

[OPTION]セクション

表 4.5. [OPTION]セクション

エントリ	説明
MaxRentPerTrans	このエントリは、賃貸料の生成に用いられます。 1トランザクションあたりの賃貸料計算の最大数を設定します。 デフォルト値：200
MaxMsgInList	AssetCenter Serverのメインウィンドウのリストに表示される行の数を設定します。 デフォルト値：5000

エントリ	説明
<モジュール>LastCheck ここで、<モジュール>は、Alarms、CostCenter、HDAIarms、History、LostVal、Rent、Stats、Stock、TimeZone、UpdateToken、WkGroup、WkGroup <xxx>、WorkflowFinderに設定できます。	末尾に「LastCheck」が付く行は、最新のモジュール実行日付を表します。 これらは、AssetCenter Serverが再起動されたときに次のモジュール実行を計算するために用いられます。 実行グループ<xxx>が存在しなくなった場合（あるいは実行グループなしのワークフローチャートが存在しない場合）、[WkGroup <xxx> LastCheck] の行（または [WkGroupLastCheck] の行）を削除することもできます。これはプログラムによって自動的に実行されません。

「amsrvcf.ini」ファイルのエントリ

「amsrvcf.ini」ファイルのエントリに関する説明は、インストール時に作成されるこのファイルの中にあります。

「amexp.ini」ファイルのエントリ

[OPTION]セクション

表 4.6. [OPTION]セクション

エントリ	説明
MaxOldDoc	[ファイル] メニューに表示されるドキュメント履歴の最大数。

「amdb.ini」ファイルのエントリ

AssetCenter接続を記述している各セクションの以下のエントリを変更しなければなりません。

表 4.7. 「amdb.ini」ファイルのエントリ

エントリ	説明
AmApiDll	AssetCenterのaamapi50 API DLLへのパスを設定します。 このエントリは、Connect-ItおよびOAAで用いられます。
FetchingArraySize	SQLコマンドを実行する際のパケットによる取得行数。 デフォルト値：30

エントリ	説明
OdbcLockingTime	<p>Microsoft SQL Serverデータベース（MSDEを含む）の場合に、レコードが他のユーザからロックされているとみなされる時間を設定します。</p> <p>単位：秒</p> <p>デフォルト値：60</p> <p>警告:</p> <p>この値が小さすぎると、過負荷のサーバの場合にインポートプロセスが中断されるおそれがあります。</p>
OldStyleCatalog	<p>Oracleデータベースにおいて、デフォルトの [All_Catalog] ビューの代わりに [Tab] ビューを使用します。</p> <p>このエントリには次の2つの値があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1： [Tab] を使用 ■ 0： 「All-Catalog」 を使用

「.ini」ファイルの変更を制御する

オプションを変更するとそれぞれのアプリケーションにより「.ini」ファイルが自動的に変更されます。

複数の実行可能ファイルまたは実行可能ファイルのインスタンスが同じ「.ini」ファイルに関連付けられている場合、変更を保存する最新の実行可能ファイルが優先されます。

ファイルの変更を制御したい場合、「.ini」を読み取り専用を設定することをお勧めします。

「aamapi50.ini」ファイルに対しては特にお勧めします。

5 AssetCenterの旧バージョンのアップグレード

AssetCenterのアップグレード操作は旧バージョンの番号によって異なります。

表 5.1. AssetCenterの旧バージョンのアップグレード - 実行方法

更新するバージョン番号	実行方法	参照マニュアル
バージョン4.2.x、4.3.x、4.4.x	標準的なケースでは、簡易アップグレードで十分です。	マニュアル『インストールとアップグレード』の「旧バージョンのアップグレード」の章
	簡易アップグレードに失敗した場合は、簡易マイグレーションを実行する必要があります。	マニュアル『マイグレーション』
バージョン4.1.xまたはそれ以前	完全マイグレーション	マニュアル『マイグレーション』

6 修正されたバグ

この章では、AssetCenterで修正された主なバグについて詳しく説明します。

以下の表には2つの列があります。

- バグ番号：バグの番号（または新機能の番号）がわかっている場合、表に番号が示されているので簡単に見つけることができます。
- 説明：バグまたは新機能に関する簡単な説明

バージョン5.00

バグ番号/拡張依頼	説明
AM1228164219	英語版のAssetCenterに見られるバグです。 英語版の「予算の作成」ウィザード（sysFinBudgetCreate）で、いくつかのラベルがフランス語で表示されていました。
AM47171655	多言語データベースに関するバグです（データベースは、AssetCenter Database Administrator、[アクション/データベースに言語を挿入]メニューを使ってマルチリンガルにすることができます）。 ある言語のカスタマイズページを変更すると、別の言語でも同じページのラベルが上書きされました。
AM3911478	アーカイブを有効にした場合のOracleデータベースに関するバグです（AssetCenter Database Administrator、[データベース/アーカイブを有効にする]メニュー）。 複数のレコードを同時にアーカイブしたときにエラーが発生しました。

AM1962720	AssetCenter Database Administratorを使って構造とデータをエクスポートしてから再インポートした場合のデータベースに関するバグです。 AssetCenter Windowsクライアントが再作成されたデータベースに接続したときに、「データベースまたはファイル内にデータベースの記述がありません。」というエラーメッセージが表示されました。
AM2422339	詳細画面の表示のしかたに関するバグです。 デフォルトで、一部のフィールドが非表示になっていました。 ユーザがマウスカーソルを使って列の区切りを見つけ、手動で列を広げてフィールドを表示させる必要がありました。
AM128121256	資産をポートフォリオから削除したときのソフトウェアの動作に関するバグです。 資産をポートフォリオ（ [割当]（ seAssignment ）フィールド）から削除したときに、資産にリンクしているライセンスのライセンス割当が解除されませんでした（ [ユーザ]（ ユーザ ）および [親レコード]（ 親 ）リンクが空になりませんでした）。
AM51011573	マイグレーション中のデータベースの変換に関するバグです。 依頼明細と発注明細間のリンクと、資産と受領明細間のリンクが失われました。
AM510181631と AM120155225	アーカイブを有効にした状態のデータベースに関するバグです（ AssetCenter Database Administrator、 [データベース / アーカイブを有効にする] メニュー）。 テーブルのページの1つに AssetCenter Database Administrator を使って新規フィールドが追加された場合、Windowsクライアントがデータベースに接続したときに [フィールドXXXがテーブルYYY内にありません。] というエラーメッセージが表示されました。
AM524203228	「 amdb.ini 」ファイルに TABLESPACEINDEX=XXX のような行が存在するデータベースに関するバグです。 AssetCenter Database Administrator によって新しいインデックスを作成しようとするとうエラーが発生しました。
AM527192938	[ユーティリティ / この列に関する統計] ショートカットメニューの使用に関するバグです。 統計の計算に、ユーザアクセス制限が考慮されていませんでした。
AM629165125	必須フィールドが空のレコードを保存するときに発生したバグです。 AssetCenter は、ユーザへの警告なしにレコードを保存していました。
AM85191735	接続にLDAP認証を使用しており、匿名アクセスが無効化されているデータベースに関するバグです。 LDAPアカウントが無効になったユーザでも、AssetCenter データベースに引き続き接続できていました。
AM85174839	フィールドが複数の列に渡って表示される特定詳細画面に関するバグです。 フィールドの列が非表示になる場合があります。ユーザがマウスカーソルを使って列の区切りを見つけ、手動で列を広げてフィールドを表示させる必要がありました。

AM1014164642	<p>ユーザがWindows 2000、XP、またはServer 2003統合セキュリティを使って接続できるデータベースに関するバグです（これらのユーザのログインは[domain]\[user]です）。</p> <p>[統合NTセキュリティ使用] チェックボックスをクリアにした状態では、ユーザが、[domain]\[user]として任意のパスワードでデータベースに接続できていました。</p> <p>エラーメッセージは表示されるものの、ユーザは接続を行えました。</p>
AM10519459	<p>ユーザがレコードの選択を変更しようとしたときに発生したバグです。</p> <p>一部のフィールドに値が入力されていない、というメッセージが表示されて、AssetCenterが変更の保存を拒否する場合があります。</p>
AM211162513	<p>すべての詳細画面の [ドキュメント] タブに関するバグです。</p> <p>[切断] ボタンが正しく機能しませんでした。</p>
AM318154620	<p>AssetCenter Serverが実行グループのワークフロー規則を実行する方法に関するバグです。</p> <p>AssetCenter Serverは、起動条件がチェックされなかった場合でもワークフローイベントを保存していました。</p>
AM419154852	<p>発注された資産を発注された保証にリンクする、発注に関するバグです。</p> <p>受領時に、資産と保証のリンクが正しくありませんでした。</p>
AM525133645	<p>複数の親資産と、親資産にリンクされた複数のコンポーネントから構成された発注に関するバグです。</p> <p>主要資産の受領がずれたときには、受領した主要資産にリンクされているコンポーネントの数が不正確になっていました。</p>
AM47152019	<p>AssetCenter Database Administratorを使った金額フィールドの削除に関するバグです。</p> <p>削除中にエラーが発生しました。</p>
AM1031111754	<p>すべてのテーブルの [ドキュメント] タブに関するバグです。</p> <p>[実行] ボタンをクリックすると、[変更] ボタンが理由もなく有効になっていました。</p>
AM22420549	<p>[システムテーブル] (SysBlob) に関するバグです。</p> <p>このテーブルに対してユーザ権限を定義できました。</p>
AM817181418	<p>ビューの編集に関するバグです。</p> <p>ユーザが管理者権限なしにビューを編集できました。</p>
AM424115636	<p>[この列をリストに追加] ショートカットメニュー項目が表示される方法に関するバグです（詳細画面のフィールドとリンク）。</p> <p>このメニュー項目が、リストに追加できないリンクに使用可能でした。</p>
AM511154712	<p>AQLクエリでのamGetRecordHandle() APIの使用に関するバグです。</p> <p>APIによって処理されているクエリのフィールドにエイリアスを指定できませんでした。</p>
AM92220209	<p>アーカイブを有効にした状態のデータベースに関するバグです（AssetCenter Database Administrator、[データベース/アーカイブを有効にする]メニュー）。</p> <p>[ドキュメント] (amDocument) テーブルを表示すると、特殊フィールドcf_sysCoreDocBlobExistsでエラーが発生しました。</p>

AM979534	AssetCenterデータベースへの一時アクセスタイプのユーザに関するバグです。 これらのユーザが、[ドキュメント] (amDocument) テーブルにアクセスできませんでした。
AM93133619	発注の詳細に表示されている[作成]ボタンに関するバグです。 ボタンを有効にした[Statuscde.]フィールド (seStatus) の値のリストが不正確でした。このため、[作成]ボタンを有効にすると断続的なエラーが発生しました。
AM1020132346	[部署と従業員] (amEmplDept) テーブルのAdminユーザに関するバグです。 このユーザの名前を変更すると、AssetCenter Database Administratorを使ってデータベース構造の変更を保存できませんでした (エラーORA-00001: unique constraint (AC421.EMPLDEPT_IDNO) violated (一意条件 (AC421.EMPLDEPT_IDNO) に違反))。
AM112131749	ユーザ権限の詳細の[権限]タブの下の[経費明細] (amExpenseLine) テーブルの表示に関するバグです。 [ファイナンス]テーブルが起動されていない場合 ([ファイル/モジュールの起動]メニュー)、このテーブルが表示されませんでした。 購入価格によって資産を作成するなど多くの場合、[ファイナンス]モジュールが起動されていない場合でも、AssetCenterでは経費明細を自動的に作成する必要があります。
AM11418616	ウィザードのリストに関するバグです (LISTBOXコントロール)。 リストの列の1つのサイズが0のときに、列のタイトルと内容が整合しなくなりました。

履歴 - バージョン4.2.2

バグ番号/拡張依頼	説明
AM524203228	Oracleでは、tablespaceindexをamdb.iniファイルで指定した場合、インデックスをAssetCenterデータベースに追加できませんでした。
AM610173417	データベースに多くのBASICスクリプトが含まれている場合、データベースに接続する際、または、特定テーブルを表示する際に、「記号テーブルがいっぱいです。」エラーメッセージが表示されました。 この問題を回避するには、以下の手順を実行します。 1 AssetCenter Windowsクライアントを起動します。 2 データベースに接続します。 3 [管理/データベースオプション]メニューで、データベースオプションを表示します。 4 [スクリプトエンジン/エンジンごとのスクリプト数]の値を、エラーメッセージが消えるまで減らしてください。
AM6221756	[ユーティリティ/この列に関する統計]ショートカットメニューで表示した統計が、接続したユーザのアクセス制限を考慮していませんでした。

バグ番号/拡張依頼	説明
AM629165125	ある環境で、必須であるフィールドおよびリンクテーブルのリンクを入力することなく、レコードを保存できてしまいました。
AM85191735	LDAPディレクトリを使用してデータベースへの接続を管理する場合に、AssetCenterではLDAPユーザロックが考慮されませんでした。
AM85174839と AM2422339	ある場合に、フィールドおよびリンクの [無関係] スクリプトの値はいからいいえに変更すると、そのフィールドおよびリンクが正しく表示されませんでした。
AM42118428	AssetCenter 4.3.2データベースマイグレーションの信頼性が向上しました。
AM114121327	マイグレーション中のJavaメモリ管理が改善されました。
AM621182715	[コメント] (amComment) テーブルへのOwnCopyタイプのリンクは作成できませんでした。
AM1221162330	発注明細の配達に時差がある場合、合計発注数量が正しく保持されず、受領したポートフォリオ品目の [割当] フィールド (seAssignment) が正しく更新されませんでした。
AM1210161213	同じ発注に含まれる別々の発注明細の [親レコード] リンク (親) に、同一の値を割り当てることができませんでした。
AM31116192	AssetCenterデータベースへの接続に使用する接続名にアンダースコア (_) が含まれている場合、データベースのカスタマイズを保存できませんでした。
AM1215114941	PortfolioItem.Location.Cityリンクの統計を、資産のリストから表示できませんでした。
AM121785557	作業指示の詳細で、作業指示が閉じられる際に [合計実働時間] (tsCumulLaborHours) フィールドが正しく表示されませんでした。
AM1031111754	レコードの詳細の [ドキュメント] タブで、[実行] ボタンをクリックすると [変更] ボタンが有効になってしまいました。
AM121144536と AM12317569	[マイグレーション/アプリケーションデータの復元] メニューをAssetCenter Database Administratorで使用できませんでした。
AM26163537	発注の詳細で、依頼がプロジェクトに関連付けられている場合に、受領待ちの品目を作成 ([作成]) してから受領 ([受領]) すると、エラーが発生していました。
AM1130154046	以下のフィールドが入力されている場合、作業指示を作成できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> ■ [報告日] (dtNotif) ■ [作業完了日] (dtActualFixed) ■ [作業開始日] (dtActualFixStart) ■ [終了予定日] (dtSchedFixed) ■ [開始予定日] (dtSchedFixStart)
AM513135639	レコードの詳細で、リンクの表示サイズを変更すると、リンクを説明するテキストの最初の部分が省略されていました。
AM525133645	1つの依頼に [親レコード] リンク (親) で関連付けられる2つの依頼明細が含まれ、子明細が親明細よりも先に受領された場合、受領子アイテムの数量が、受領親アイテムに均等に分配されませんでした。
AM110134219	[管理条件] フィールドが [個別管理しない] の属性にリンクされているモデルの発注明細を部分的に受領することができませんでした。

バグ番号/拡張依頼	説明
AM36183913	LDAPディレクトリを使用するAssetCenterデータベースの接続を解除しようとする、LDAP接続を閉じることができませんでした。
AM85191735	ユーザプロファイルでアクセスがブロックされているAssetCenterユーザが、LDAPディレクトリ経由で接続可能でした。
AM419154852	資産と保証を同時に注文すると、資産と契約間のリンクが受領に正しく表示されませんでした。
AM317144754	データベースが多く在庫規則を持つ場合に [在庫の検証] (在庫) モジュールを実行すると、AssetCenter Serverがフリーズすることがありました。
AM33120039	ウィザード遷移の評価のタイミングが誤っていました。このため、遷移条件の評価が困難でした。
AM427212738	ある条件下で、 [コメント] (amComment) テーブルにレコードを作成する際、そのレコードが他のテーブルにある元レコードに関連付けられませんでした。
AM123117452	Microsoft Accessで、AccessテーブルとAssetCenterテーブルへのリンク間に結合のあるクエリを作成し、その結合の識別子タイプがテキストの場合、正しい結果は得られませんでした。
AM413142533	依頼を実行 ([実行] ボタン) すると、受領品目の数量の更新に失敗していました。
AM515144754	ある環境で、ワークフローチャートのデータベースからのエクスポート、および、他のデータベースへのインポートが正しく実行されませんでした (ワークフローチャートの詳細、 [エクスポート] および [インポート] ボタン) 。
AM517144123	Oracleでは、 [ポートフォリオ品目] (amPortfolio) テーブルをアーカイブできませんでした。
AM522182836	256以上のフィールドとリンクを持つテーブルに対するアーカイブクエリが省略されていました。
AM614163416	メインテーブルの詳細画面のタブに他のテーブルからのページが表示される際、アクセス制限の読取り条件が正しく解釈されませんでした。このため、ページが非アクティブとして表示されることがありました。

履歴 - バージョン4.4.1

バグ番号/拡張番号	説明
AM42163840	アクセス制御は、まれに親 (未定義 [親ドメイン] (親) リンク) のない機能ドメインを無視することがありました。
AM111193444	チケットのトラッキングの詳細で、複数チケットを選択した際、 [ステータス] (seStatus) フィールドを、 [クローズドおよび検証済] に変更できない場合がありました。
AM3911478	AssetCenterでOracle RDBMSを使用すると、他の複数レコードにリンクされ、それらが [コメント] (amComment) テーブル中のレコードにリンクされているレコードは、アーカイブできませんでした。 例:発注明細にリンクされ、さらに、発注明細がコメント ([コメント] リンク) にリンクされている発注。

バグ番号/拡張番号	説明
AM22513358, AM21174852, AM22492731, AM47154645, AM4141865, AM2118621, AM14123050, AM1228173221, AM11215153, AM21131445, AM315124536, AM4141865	アクセシビリティオプションでの大幅な改善。
AM101813572	[インストールからソフトウェアライセンスタイプ(モデル)を作成]ウィザード(sysSamCreateLicModFromInst)の最後のページで、作成されるモデルが表示されませんでした。
AM1221181950	[ソフトウェアカウンタ]テーブル(amSoftLicCounter)では、多くのフィールドに無関連スクリプトがありました。
AM21016659	[ソフトウェアの割り当て]ウィザード(sysSamEntitleUserOrItem)の[割り当てるライセンスの選択]ページで、最初のリストに正しいレコードが含まれませんでした。
AM3109479	[ソフトウェアの管理]ウィザード(sysSamLauncher)は、現在関連付けられている契約が契約のテーブルから削除された場合、正しく動作しませんでした。
AM348923	[単純カウンタの作成]ウィザード(sysSamSimpleSoftCounterCreate)により、作成されたカウンタの[権限計算モード](seLicCountMode)フィールドに正しく入力されませんでした。
AM349812	[インストールからソフトウェアライセンスタイプ(モデル)を作成]ウィザード(sysSamCreateLicModFromInst)の2ページ目で、[ライセンス(モデル)の確認]ラベルが正しくありませんでした。
AM2718152	[ソフトウェアの管理]ウィザード(sysSamLauncher)で、[前のステップ]が複数回表示されることがありました。
AM29103756	[新しいソフトウェア契約(原案)の作成]ウィザード実行後に表示されるレポートが、空白のままでした。
AM128121256	資産からポートフォリオ品目を削除すると、そのポートフォリオ品目に関連付けられたソフトウェアライセンスは、割り当てが解除されるのではなく、一緒に削除されていました。
AM54163024	[ソフトウェアライセンスの依頼]ウィザード(sysSamCreateLicReq)の最後のページが空白でした。
AM1110171030	[コストセンタごとのインストールをカウント]モデルカウンタ(BST_SAM05)が、不正確でした。
AM12618516	[権限数とインストール数を再計算]ウィザード(sysSamReCalcCounters)を、選択したカウンタすべてに適用することができます。必要に応じて、計算時間を短縮することができます。
AM1228164219	英語バージョンの[予算の作成]ウィザード(sysFinBudgetCreate)で、一部のラベルがフランス語で表示されていました。

バグ番号/拡張番号	説明
AM47171655	AssetCenter Database Administratorを使用して多言語データベースのカスタマイズを行うと、変更の保存の際に言語が混用されていました。

履歴 - バージョン4.4.0

バグ番号/拡張依頼	説明
RFP219144517 (Centerpoint 405068)	AssetCenterは、フィルタの連番を正しく保存します。例えば、詳細画面フィールドでのフィルタ（ [このフィールドで検索] ショートカットメニュー ）とシンプルフィルタから成る1つのフィルタが保存され、次回、画面を開いたときにデフォルトで再度適用されます。
AM21805156 (Centerpoint 404946)	スクリプトタイプのアクションのスクリプトで、アクションをテストするときに（ [テスト] ボタン ）、シンタックスSet [<フィールド>] = <Value>が機能しません。
AM42163840	階層レベル0の機能ドメインは、アクセス制限で考慮されません。
AM63145351	列での統計では、アクセス制限は考慮されません。
AM914165310	AmDeleteLink()関数に関する問題です。
AM91192631	接続設定ファイルが、Windows 98で間違っって処理されています。
AM48161743	[「無関連」フィールドを読み取り専用で表示する] オプションを有効にすると、入力されたリンク先の情報の一部が失われるか、変更中にエラーが発生します。
AM415181913	AssetCenterメッセージアクションで参照されたリンクからデータの値が戻りません（空の値が戻ります）。
AM618142419	タブフォーマットの情報を更新するときに、データ入力権限がチェックされません。 [連絡先] （ amThirdParty ）テーブルが、リースモジュールではなく契約モジュールに含まれるようになりました。
AM7815143	[カタログリファレンス] 画面を開くと一般保護違反が発生します。
AM730153214	[資産とロット] 画面の [ポートフォリオ品目] タブにポートフォリオ品目のモデルを入力することができません。
AM82142931	接続スロットを参照できるのは、Adminユーザだけです。
AM123191157, AM123194758, AM123110351, AM15134956	改善されたJawsサポート
AM1124193751	コンテキストとしてamAssetを持つアクションによって、間違っった値が返されます。
AM81483457	デフォルト値を計算するとき、存在しない主キーの値を外部キーとして割り当てることが可能です。
AM104101436	MS SQL Serverで、リストをエクスポートするときに、エクスポートされないレコードがあります。
AM95121126	フィールド上の [無関連] プロパティに関連する問題です。
AM48184016	ブール値でLIKE句を使用するフィルタでエラーが発生します。
AM41583953	シンプルフィルタを使用するときにエラーが発生します。
AM615133859	特定のフィールドでCurrentUser仮想リンクを使用すると一般保護違反が発生します。

バグ番号/拡張依頼	説明
AM813155830	クエリに理由もなくエイリアスが追加されています。
AM322112512	指定テーブル所有者を持つデータベースが、データベース構造を更新するときに不適切に処理されます。
AM12217486	特定の予約済みのフィールド名とリンク名が、データベースの編集前にテストされません。
AM910211010	画面に追加可能なページのリストに、ページがありません。
AM92182732	MSSQLではBlobとメモに特殊な処理が必要です。
AM31155052	AmCreatePOsFromAllReqLines() 関数が、 InitReqLine (IInitReqLine) リンクを満たしません。
AM413165518	AssetCenter APIを動的にロードするMFC (Microsoft Foundation Classe) を使ってプログラムを作成することはできません。
AM41518515	マルチタイプのリンクによってリンクされている情報は、リスト設定に追加することができます。
AM32810316, AM720181513	複数選択の問題です。
AM430135251	cf_self 特殊フィールドでの並べ替えの問題です。
AM86132339	リストで [ジャンプ] 機能を使用すると問題が発生します。
AM819173922	AQLタイプの特特殊フィールドで WeekDay() 関数を使用すると問題が発生します。
AM119163334	タブで表示されるすべてのフィールドが無関係なときには、タブがマスクされません。
AM83113854	Crystal Reportsで任意管理項目を使用するときに問題が発生します。
AM32219140	ナビゲーションバーからレポートをプレビューするとき、横モードが使用できません。
AM11216346	金額を換算するときに問題が発生します。
AM92220059	データベースとの接続切断時に、ボタンに対して行ったカスタマイズ ([編集 / オプション] メニューで許可) が失われます。
AM127184030	[日付+時間] フィールドに年を2桁の値として指定すると、2桁から4桁への変換が不正確になります。
AM4107545	並べ替えに問題があります。
AM130172350	フィールドを変更したときの更新時に問題が生じます。
AM5520045	リンクリストの「さらにロード」ボタン (+) が、サブリストでは使用できません。
AM6213113	[タブ形式で表示] 機能をサブリストで使用すると、リストにアクセス制限があるときに一般保護違反が発生します。
AM813101843	リンクされたデータ項目を、タブを経由せずに直接表示すると、「倍精度」データ型に対して一般保護違反が発生します。
AM828165559	[任意管理項目] タブでは、「Tab」キーを使って移動するときにフォーカスが失われる場合があります。
AM101118197	任意管理項目は、複数選択モードでは追加できません。
AM422034	任意管理項目は、複数レコードを追加するときに更新されたカウンタを考慮に入れません。
AM62142413	テーブルを作成するときに任意管理項目を割り当てると、一般保護違反が発生します。
AM226103810	新規のコストセンタ分割を追加すると、日付を正しく評価することなく、すべての経費明細が再コンパイルされます。

バグ番号/拡張依頼	説明
AM526144636	会計期間の作成に使用されるウィザードに、有効でないデフォルト値が含まれています。
AM319185434	経費明細の計算に、アクセス制限が正しく考慮されていません。
AM93145710	モニタしている任意管理項目をインポートするときに、ワークフローがトリガされません。
AM991777	完全名フィールド (FullName) にアンダスコア「_」が含まれると、完全名フィールドが間違っていて更新されます。
AM524135251	自動入力機能が、フィールドの読取り専用スクリプトと競合しています。
AM81316430	[編集]メニューの[複製]コマンドは、無関係のときでも常に使用できます。
AM84141310	カスタマイズを統合するときに、パスワードが不正確に処理されています。
AM11904829	週を分割するときにエラーが発生します。
AM59162510	ロットは、在庫から出されるときに自動的に分割されません。
AM6495451	レコードの作成後に[変更]ボタンが表示されます。
AM81620656	レコードを作成するときにエラーが発生します。
AM1020155639	関連付けられた経費明細を変更するときに、作業指示の費用が更新されません。
AM1123171614	ポートフォリオ品目の[コンピュータ]タブにおいて複数選択モードで更新すると、一般保護違反が発生します。
AM74185455	在庫で予約を使用すると、経費明細が作成されません。
AM103184836	受領した発注が、受領ウィザードで指定された在庫に送信されません。
AM12115657	受信プロセス中にキャンセルされたデフォルト値に関する問題です。
AM31216225	[作成続行]ボタンを使用すると、特定フィールドの値が更新されません。
AM67183413	依頼を作成するとき、[場所]リンクが一貫性を持って設定されません。
AM610164841	受領した資産は、依頼で指定されていたとしても、プロジェクトと関連付けられていません。
AM92119034	在庫のデフォルト値が考慮されていません。
AM1026143431	Oracleでサブクエリを生成するときに問題が発生します。
AM726103857	リンクから表示された、フィルタされた詳細が、元の詳細フィルタと競合しています。
AM61718395	クエリでの結合問題です。
AM21805156	テストモードでのSet()関数に関する問題です。
AM104141732	iNumberパラメータが32767より大きいときには、Left()関数、Right()関数、Mid()関数が動作しません。
AM55184631	Group Byコンテキストが権限のコンテキストと同じ場合、ソフトウェアカウンタによるエラーが発生します。
AM7217024	ビューを変更すると一般保護違反が発生します。
AM816142247	日本語のビューに関する一般保護違反です。
AM1110153513	[ツール]メニューを使ってビューを変更すると、一般保護違反が発生する場合があります。
AM7813554	値が、ウィザードの1つのページから別のページに正しく引き継がれません。

バグ番号/拡張依頼	説明
AM63145456	チェーンになったウィザードの [キャンセル] ボタンに関する問題です。
AM628154759	ウィザードのDBLISTBOX機能で、結果セット全体の並べ替えが行われません。
AM72614749	ウィザードがスクリプトによって起動されるときに、ウィザードの概要にログの内容が表示されません。
AM1115142343	クエリウィザード (QBE) に関する問題です。
AM313143935	「AND」条件が、所定のワークフロー、レコード、アクティビティに対して1回だけしか動作しません。
AM429164239	ワークフローでイベントを処理するときに発生する問題です。
AM625174739	ワークフローでイベントを処理するときに発生する問題です。
AM129104820	ウィザードとスクリプトタイプのアクションを使って、階層を通じて情報を伝達することができません。

履歴 - バージョン4.3.2

バグ番号	説明
AM27181331	階層構造のテーブルで、[氏名] フィールドの作成に使用されるフィールドに、上位レコードのいずれかのレベルでアンダースコア (_) 文字が含まれていると、上位レコードの更新の際に下位レコードの [氏名] フィールドが壊れます。 例: [契約] テーブル (amContract) 内では、[氏名] (FullName) は [参照] フィールド (Ref) を使用して作成されます。[参照] フィールドが Parent_1 であるレコードと、Parent_1 にリンクされたレコード ([参照] フィールドは Child) があるとします。Child の [氏名] フィールドは /Parent_1/Child/ です。この場合に Parent_1 を Parent_2 に変更すると、Child の [氏名] フィールドが壊れます。
AM62142413	<ol style="list-style-type: none"> 1 AssetCenter Database Administratorを開始します。 2 新規テーブルを作成します ([データベース / テーブルの追加] メニュー)。 3 オプション [機能の追加] を選択します。 4 作成を承認します ([作成] ボタン)。 5 修正をデータベースに保存します ([ファイル / 保存] メニュー)。 エラーが発生します。
AM63145351	リストの列の統計で、アクセス制限が考慮されません (列のヘッダのショートカットメニュー [ユーティリティ / この列の統計])。
AM615133859	フィールドまたはリンクに関連付けられたスクリプトの1つが CurrentUser を使用している場合、レコードの複数選択を修正するとエラーが発生します。
AM77142538	AssetCenter Database Administratorのドイツ語版で、[マイグレーション / データベースの変換] メニューを使用するとエラーが発生します。
AM625111443	特定の環境で、AssetCenterの終了時にリスト設定が保存されません。

バグ番号	説明
AM2918235	フィールドまたはリンクに関連付けられたスクリプトが、任意管理項目の値を参照している場合、AssetCenterでデータベースに接続するとスクリプトがコメントアウトされます。

履歴 - バージョン4.3.2 (ビルド3654)

バグ番号	説明
AM32211505	接続されたユーザのログインが文字「@」で始めると、Crystal Reportが機能しません。
AM322144957	Crystal Report 9.2レポートおよびそのサブレポートをインポートできません。
AM32219140	レポートをナビゲーションバーから横モードでプレビューすると、レポートがこのプロパティを失います。
AM21017168	設定によっては、表示メニューと特定のポップアップメニューが失われることがあります。
AM21723560	amContractsテーブルにParent.Parent.Parent型のリンクがないことに関する問題です。
AM21919132	DB2のクエリに関するパフォーマンス問題です。
AM47141551	Excel形式でのリストのエクスポートに問題があります。各エクスポートごとに新しいワークシートタブが作成されています。
AM21115631	Err.Description 関数を使用して特定のワークフローおよびBasicスクリプトを実行するとAssetCenter Serverで一般保護違反が発生します。
AM25164658	モダリティウィザードの順序付けに問題があります。
AM212211815	AmBusinessSecondsInDay() および AmDeadLine() 関数が、AssetCenterがタイムゾーンを扱う設定になっている場合に機能しません。
AM429192117	固定資産の残余価値査定に問題があります。値がマイナスになる可能性があります。
AM92519358	機能権限の解釈に問題があります。ユーザは対応する機能権限がなくてもレポートの表示と印刷が可能です。
AM911113118	amSysConfigに更新権限がないユーザが、アプリケーションを最小化して、次に最大化すると問題が発生します。
AM227111640	空のスケジュールプレビューをダブルクリックすると一般保護違反が発生します。
AM86132339	[ジャンプ]ショートカットメニューを使用すると問題が発生します。
AM127181736	契約の使用に問題があります。
AM3818541	Basic言語のエラー処理に問題があります。
AM724153742	エクスポートモジュール内のリストと詳細との同期に問題があります。
AM226154125	テーブルを開くと一般保護違反が発生します。
AM312165717	テーブルでクエリを作成すると一般保護違反が発生します。
AM21115338	あるデータベースのカスタマイズを別のデータベースに伝達すると画面定義が失われます。
AM11614552	消費数量を移行するときに問題が発生します。
AM101144456	ポートフォリオ品目を複製するときの画面の安定性に関する問題です。

バグ番号	説明
AM112165057	依頼ウィザードの問題：注文および取得状況へのリンクが定義されていません。
AM12119816	追加機能: AIXでDB2 V8をサポート。
AM1114143516	追加機能: 列形式による統計表示をオフにする機能。
AM1211162021	複数選択された [メモ] フィールドを更新するときに問題が発生します。
AM22091349	追加機能：数字で始まるSQL名のフィールドは作成されません。
AM611111246	システムデータをエクスポートするときに一般保護違反が発生します。
AM1121183141	DB2データベースの診断エラー。
AM1124152543	amCostCenterテーブルの記述文字列を変更するときに一般保護違反が発生します。
AM1223154811	「migration/from431/upgrade.lst」設定ファイルを検出できません。
AM128182940	ウィザードで関数「 amEvalScript 」を使用できません。
AM114141354	ウィザードによって返された最初のフィールドが空のときにウィザードで問題が発生します。
AM630153459	関数「 AmExecuteActionByName 」を使用するときにエラーが発生します。
AM1127145127	複数テーブルを結合する場合、ADBCドライバにより生成されるクエリにエラーが発生します。
AM512154843	AssetCenter Database AdministratorでDB2データベースをカスタマイズするときに問題が発生します。ユーザもデータベースの「所有者」である必要があります。
AM101141243	[請求書と経費の照合更新...] ウィザードでエラーが発生します。
AM1016194657	スクリプトライブラリのスクリプトが存在しないアクションを参照します。
AM111919051	ポートフォリオ品目画面でフィルタを適用すると、一部のタブが消えてしまいます。
AM6516223	『プログラマーズリファレンス』の問題。
AM72518374	関数「 AmCounter 」の使用方法に関するセクションをマニュアルに追加しました。
AM11393158	契約賃貸料にかかる税金を計算式で求めるときに問題が発生します。
AM47172310	リストにエクスポートするときに問題が発生します。
AM112185856	ポートフォリオ品目の項目を強制的に表示しようとするときに整合性違反が発生します。
AM327192226	作業指示に消耗品を追加するときに問題が発生します。作業指示にはすべてのモデルを使用できますが、消耗品だけは使用できません。
AM103182440	[賃貸料の比例配分] 画面で選択画面が表示されません。
AM112818057	賃貸料の比例配分が適用されません。
AM411155420	ポーランド語バージョンを移行するときに問題が発生します。
AM112121232	移行対象のデータベースに同一名、同一ブランドの製品が複数含まれる場合、バージョン3.6.0から移行するときに問題が発生します。
AM36111450	ポートフォリオ品目の [在庫] ボタンが機能しません。
AM72819439	作業指示に関連付けられた消耗品はバージョン3.6.xと同じように処理されます。
AM610151313	[amReqLine] テーブルの [bExternalContract] および [bExternalParent] フィールドに関連する一般保護違反が発生します。
AM12618538	モデルの属性を変更するときに一般保護違反が発生します。

バグ番号	説明
AM112616246	依頼明細は依頼作成ウィザードで収集されるデータではなく、依頼テンプレートのデフォルト値を継承します。
AM613202242	発注の際、最初の依頼明細の識別子は0に設定されます。
AM62717568	予約資産の依頼に対して発注書を作成するとき、作成された発注が空になります（明細なし）。
AM811113249	カタログまたはサブライヤを選択するときに問題が発生します。
AM109174539	AssetCenter Serverで受領を処理するデータベースとの接続を解除するときにエラーが発生します（データベースオプション：「 AssetCenter Server で受領品をポートフォリオに自動的に作成」）。
AM1124133543	SQL92を結合するときに問題が発生します。
AM1022141919	スクリプトライブラリの一般保護違反が発生します。
AM2219264	アクション実行時に一般保護違反が発生します。
AM7813554	ウィザードでのデータ連番の問題。
AM101516109	ウィザードと有効性のスクリプトとの非互換性に関する問題。
AM1021135750	ワークフローのアクティビティの一般保護違反が発生します。

履歴 - バージョン4.3.1

バグ番号	説明
AM1030175944	英語版以外のMicrosoft OfficeにおいてMicrosoft Excelにエクスポートするときに問題が発生します。
AM117165017	AssetCenter Database Administratorはフィールド数が255以上のテーブルの構造とデータをエクスポートしようとするときにトラップを発生します（ amRequest など）。
AM108193219	AssetCenter Database Administratorはデータベースの変換時に、255以上のフィールドを持つテーブルにフィールドを追加する場合トラップを発生します。
AM630153459	あるアクションがAPI「AmExecuteActionByName」を使用して別のアクションを実行する場合、このアクションがシステムリストデータを使用して入力したフィールドを参照するときにエラーが発生します（無効な値）。
AM114141354	列の値が空のときにウィザードのリストの値がずれて表示されます（[LISTBOX] タイプリストの値はAPI amDbGetListExで呼び出されます）。
AM1015175139	[Targ. port] フィールド（TargetPort）が空の場合、資産用に指定したポートを削除できません('amPort'テーブルのレコード番号XXXはすでに削除されているため、更新できなかった)。
AM1118162930	ADBCドライバで動作する特定のCrystal ReportをAssetCenterにインポートする前に表示エラーが発生します（Crystalエラー：データベースDLLでエラーを検出）。
AM102916817	CurrentUSer.ImplDeptIdリンクによって正しい値ではなく、値0が返されることがあります。
AM1016194045	ウィザードにおける空の日付の変換エラー（"（タイプ（空））を日付と時間タイプ（非互換タイプ）に変換できない）。

バグ番号	説明
AM7716830	多数のマシンがあるドメインで [NTドメインコンピュータのインポート] ウィザードを使用すると一般保護違反が発生します。
AM611123748	オーバーフローテーブルでの受領の際に調整が考慮されない場合があります。
AM730105851	マイグレーションプロセス中に任意管理項目クラステーブルでインデックスの一意性エラーが発生します。
AM8221507	モデルの属性を変更すると一般保護違反が発生します。
AM81210217	ポートフォリオ品目のモデルを変更するとインデックスの固有性の制約エラーが発生します。
AM829153450	リモート資産に関連付けられているが、リモートポートに関連付けられていないポートを削除するときにエラーが発生します。
AM829154149	購入依頼ウィザードが正しく機能しません。
AM82193823	[固定資産] テーブルの [資産] タブを選択するときにエラーが発生します。

履歴 - バージョン4.3.0

バグ番号	説明
AM926175729	接続： [資産とロット] 画面の [ポート] タブで、レコードにリンクするとポート番号が表示されなくなります。
AM123161137	調達：返却に関する情報が [トラッキング] タブに表示されません。
AM930172631	BASICスクリプトでファイルを開くとエラーが発生します。
AM121142634	AssetCenter API DLLまたはConnect-It Asset Management コネクタの使用時に「amdb.ini」ファイルが読み取り専用だとエラーが発生します。 このファイルの場所：▶ マニュアル『AssetCenter - インストールとアップグレード』の「.iniおよび.cfgファイル」の章。
AM619136	表示：画面でレコードのリンクをたどって変更してもレコードが更新されません。
AM43010438	接続：不特定ユーザが許容最大数に達したときに接続スロットが更新されません。
AM48144549	数量フィールドのタイプが [浮動小数点] から [倍精度] に変更されました。
AM424152932	記述文字列：固有文字列の参照時にエラーが発生します。
AM12161492	ポートフォリオ品目：資産を複製してもそのリンクが複製されません。
AM92131852	ファイナンス：予算分類画面で、 [コード] フィールドにアクセスできません。
AM5111114	調達：発注ウィザード： <ul style="list-style-type: none"> ■ モデルのデフォルトカタログリファレンスがデフォルトで指定されません。 ■ サプライヤの中に表示されないものがあります。
AM112115026	調達：サブ作業指示を含む作業指示を作成すると、リンクされない依頼が2つ作成されます。
AM121595842	ウィザード： [CurrentSelection] 機能が動作しません。

バグ番号	説明
AM64175835	ワークフロー：ワークフローを複製できません。
AM1210147	表示：一部のフィールドラベルがアイコンで隠されています。
AM12618038	任意管理項目：任意管理項目を非常に多く使用すると、アプリケーションが不安定になります。
AM1813439	スクリプト：FileExists()関数が動作しません。
AM417161310	調達：[トラッキング]タブで発注数が更新されていませんでした。
AM219175437	DB2：[テーブルスペース]シンタックスのサポートに問題があります。
AM1024165921	ウィザード：[DBEDIT]コントロールのタイトルが空白の場合にエラーが発生します。
AM93195141	インデックス：複数列トリガを固有インデックスとして使用すると、最初のカラムに固有性の制約が適用されます。

履歴 - バージョン4.2.1

バグ番号	説明
AM10717814	ポートフォリオ品目詳細の[分割]ボタンに関連する[ロットの分割]ウィザードが、ポートフォリオ品目がロットのコンポーネント部分だった場合に失敗していました。
AM83019750	ナビゲーションバーからレポートを表示できませんでした。
AM93017469	[発注の作成]ウィザードが、API「amDbGetStringEx」ではなく、API「amDbGetString」を呼び出します。
AM103015310	依頼明細の数が特定数を超えると、エラーが発生しました。ビューを作成する際に、[メニューに表示]オプションを有効にできませんでした。
AM924171119	AssetCenterを特定の時間以上使用すると、画面の表示速度が減速し、最終的には表示できなくなります。 これは、画面の表示パラメータが前のパラメータを上書きする代わりに、前のパラメータに続けて格納されていたためです。 この結果、パラメータの保存スペースが不足することになりました。
AM1014123330	発注から契約を受領することができませんでした。
AM926195018	[発注の作成]ウィザード(依頼からの)が正しく動作しません。

履歴 - バージョン4.2.0

バグ番号	説明
AM95101534	ラベルの配置が正しくありません。
AM82819929	AssetCenter Serverでモジュール作成する際にエラーが発生します。サーバが再起動されたときにエラーメッセージが表示されます。
AM814104920	テーブル記述文字列(computestring)で特殊フィールドが使用できなくなりました。

バグ番号	説明
AM72516226	Microsoft Excelでマクロを実行する際にDDEエラーが発生します。
AM2181771	AssetCenter Serverを再起動したときにデータベースへの接続で問題が生じます。
AM6612112	在庫の残りすべてを削除する際に、数量0のポートフォリオ品目を在庫中に作成することが可能でした。
AM514195424	[資産] テーブルの新しいページから [ポートフォリオ品目] テーブルのフィールドを参照する際に問題が生じます。リンクを更新できません。
AM512103935	システム画面を変更すると、カスタム画面を作成できなくなります。
AM219183645	DDEシナリオの修正。
AM41685912	日本語データベースのマイグレーションプロセスが修正されました。
AM118204422	任意管理項目をインポートする際に一意性の制約に対する違反が発生します。
AM123163917	依頼明細における税金のデフォルト値が改善されました。これにより、バージョン4.1.xからバージョン5.00に移行するにはフルマイグレーションが必要になります。
AM91224925	パスワードの変更により、ワークフローのトリガまたは履歴項目の生成が行えるようになりました。

履歴 - バージョン4.1.1

バグ番号	説明
AM64165951	購入依頼作成ウィザードの改善。
AM6417657	購入依頼作成ウィザードは、モデルのリストを関連するブランドを除いて公開できなければなりません。
AM6417829	発注から使用したときの購入依頼作成ウィザードの改良。
AM6417944	受領ウィザードの改良。受領番号などのいくつかの情報が追加されました。
AM64171052	請求書作成ウィザードの改良。
AM64171447	ウィザードはコンテキストに依存しなくなり、新しく作成した依頼を開きます。
AM517141713	依頼から請求書を作成できません。
AM6417225	ウィザードの言語のシンタックス (PARAMS ノード) の問題。
AM6417432	依頼画面を作成モードに変更するとキャンセルできません。
AM6417532	[トラッキング] タブ (調達循環) で、準備中の発注/見積もりが表示されません。
AM522121958	契約の使用が動作しません。
AM64171259	モデル画面に会計コードが表示されません。
AM527152350	新しいレコードを作成したときに、クリアされないフィールドがあり、前に選択したレコードの値が残っています。
AM51310576	[amAsset] テーブルからの [ポートフォリオ] リンクをスクリプトから参照したときに正しく動作しません (デフォルト値、必須など)。
160435.a	[全般] タブが空です。
160435.b	[コンピュータ] 画面に [アプリケーション] タブが表示されません。

バグ番号	説明
160435.c	画面のカスタマイズ：画面に追加したタブが、変更した画面を詳細画面に表示する他の画面（ [amComputer] など）に表示されません。
AM531191423	カスタマイズ：1-nリンクを追加し、ページにこのリンクの情報を表示する場合、テーブルを開いたときにエラーメッセージが表示されます。
AM515134940	データキットの情報がマイグレーションプロセスで考慮されません。
AM66121547	詳細書式を作成できません。
AM66135631	経費明細の作成で問題が発生します。
AM6613592	一部のコマンドの作成（コマンド作成ウィザードによるもの）で問題が発生します。
AM411134322	Webアプリケーションの拡張に対するアクセス権限が存在しません。
AM6491025	フィールドの更新で問題が発生します。
AM619101231	名前のないページを作成できません（画面作成）。
AM415173847	マイグレーションツールのインターフェースの問題。
AM5381451	AssetCenter Database Administrator 4.1.1で4.0.0のデータベースの診断や修復ができません。
AM617143127	画面を複製したときに、新しい画面の機能ドメインの値が強制使用されます（ポートフォリオ）。
AM617144122	階層構造のテーブルのマイグレーションに失敗します。
AM617143340	ユーザタイプが「コメント」のリンクをページに追加できません。
AM61714393	テーブルの作成時に名前の大文字と小文字が変更されます。

履歴 - バージョン4.1.0

バグ番号	説明
AM4316737	[AssetTag] フィールドが正しく伝達されません。
AM21115280	「オウンコピー」タイプのリンクをタブに追加できません。
AM61513817	返却資産の取得状況が正しくありません。
AM64163334	データベースの修復で問題が生じます（切れたリンク）。
AM21492546	更新中にエラーが発生した場合、データのトランザクションの取り消しが不完全です（AssetCenter Database Administratorで）。
AM319105316	依頼のテーブルと発注のテーブルの間でデフォルト値が伝達されません。
AM319141114	単位を持つ製品の操作中に一般保護違反が生じます。
AM37182657	受領した数量が発注した数量と一致しません。
AM31174257	AmCreateReturnFromReceipt()関数が正しく動作しません。
AM312152116	データベースの編集時に金額フィールドを作成できません。
AM9139525	リース契約の対象資産の更新時に問題が発生します。賃貸料と料率が契約対象の資産に正しく伝達されません。
AM211151036	システムボタンの [妥当性] を [いいえ] に設定すると一般保護違反が生じます。
AM22091349	SQL名が数字で始まる新規フィールドを作成しようとする問題が発生します。
AM1123111915	Windows XPでデータベース接続画面が小さすぎます。
AM1149443	インポート中にログファイルが保存されません。

7 サポート

Peregrine製品サポート

Peregrineが以前に生産していた製品のサポート情報については、以下を参照してください。

- HP OpenView サービスインテグレータ (SVI)
(www.hp.com/managementsoftware/svi_partner_list) とお取引がある場合は、SVIエージェントまでお問い合わせください。
- 有効なHP OpenViewサポート契約をお持ちの場合、HP OpenViewサポートサイトを訪問の上、自己解決ナレッジサーチを使用して、技術的な疑問への回答を検索いただけます。
- Peregrineが以前に生産していた製品に関する、利用可能なサポートのプロセスとツールの最新情報については、HP-PeregrineソフトウェアサポートWebサイト (www.hp.com/managementsoftware/peregrine_support) を参照してください。

このサイトでは、Customer Support Handbookをダウンロードしていただけます。

- 他に疑問がございましたら、HP OpenView販売担当者にお問い合わせください。

HP OpenViewサポート

HP OpenViewサポートWebサイト (www.hp.com/managementsoftware/support) にアクセスしていただけます。

HP OpenViewオンラインサポートがあれば、対話型の技術サポートツールに効率よくアクセスできます。

弊社の大切なお客様として、サポートサイトのご使用により以下のメリットを享受いただけます。

- 目的のナレッジドキュメントの検索
- サポート事案と拡張依頼の提出と追跡
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP OpenViewサポート契約の検索
- 利用可能なサービスに関する情報検索
- 他のソフトウェアカスタマとのディスカッション
- ソフトウェア研修の情報収集と登録

サポートエリアの多くでは、HPパスポートユーザとして登録、サインインする必要があります。

また、サポート契約も必要となります。

アクセスレベルに関する詳細については、

www.hp.com/managementsoftware/access_levelを参照してください。

HPパスポートIDを登録するには、

www.managementsoftware.hp.com/passport-registration.htmlに進んでください。